

2018年10月19日

丸井グループの『グリーンボンド』が条件決定 ～ 国内初、再エネ100%（RE100）を用途 ～

株式会社丸井グループ（本社：東京都中野区、代表取締役社長：青井 浩）が、2018年9月28日に発表した『グリーンボンド（※1）』に関して、本日、以下のとおり発行条件が決定いたしました。

当社グループは「RE100（※2）」に加盟しており、事業活動で消費する電力を太陽光や風力などの再生可能エネルギーで100%調達する取り組みを進めています。本グリーンボンドは、再生可能エネルギーによる電力の調達を用途とする国内初の事例であり、また国内小売業界としても初めての発行となります。

■ 本グリーンボンドの概要

| | |
|---------------------------------------|---|
| 名 称 | 株式会社丸井グループ第34回無担保社債 (社債間限定同順位特約付) (グリーンボンド) |
| 年 限 | 5年 |
| 発行額 | 100億円 |
| 利 率 | 年0.190% |
| 条件決定日 | 2018年10月19日 |
| 払込日 | 2018年10月25日 |
| 資金用途 | 1. 再生可能エネルギーからの電力100%調達に向けた取り組みに関する費用 2. 温室効果ガス排出量削減に向けた省エネ活動に伴う費用 3. 再生可能エネルギー発電プロジェクト実施に関する費用 |
| 社債格付 | A- (R&I) |
| 主幹事 | 野村証券株式会社、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社 |
| グリーンボンド・ ストラクチャリング・ エージェント (※3) | 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社 |

※1 地球温暖化をはじめとした、環境問題の解決に役立つ取り組みに用いる資金を調達するために発行される債券。

※2 国際的なNGO団体である「The Climate Group」がCDPと連携して推進する国際イニシアチブであり、加盟した企業は、可能な限り早い時期で遅くとも2050年までに、再生可能エネルギー源から事業活動で使用される電力の100%を調達するという目標を宣言し公表する。

※3 グリーンボンドのフレームワークの策定およびセカンドオピニオン取得の助言などを通じて、グリーンボンドの発行支援を行う者。

■ 適格性に関する第三者評価

本グリーンボンドの適格性については、第三者評価として、E S G 評価会社である Sustainalytics（サステイナリティクス）より、セカンドオピニオンを取得しております。

https://www.sustainalytics.com/wp-content/uploads/2018/09/Marui-Group-Green-Bond-Framework-Overview_SPO_Japanese_Final.pdf

■ 本グリーンボンドに関する投資表明

本日時点において、以下の投資家より本グリーンボンドへの投資表明をいただいております。

<投資表明投資家一覧> (五十音順)

株式会社大分銀行
 学校法人関西大学
 太陽生命保険株式会社
 広島県信用組合
 株式会社福井銀行
[三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社](#)
 三菱UFJ信託銀行株式会社

■ 丸井グループの概要

商 号 : 株式会社 丸井グループ
 本 社 所 在 地 : 〒164-8701 東京都中野区中野4-3-2
 代 表 電 話 : 03(3384)0101 FAX 03(5343)6615
 U R L : <http://www.0101maruigroup.co.jp>
 社 長 : 青井 浩
 主 な 関 連 会 社 : (株)丸井、(株)エポスカード、(株)エイムクリエイツ ほか